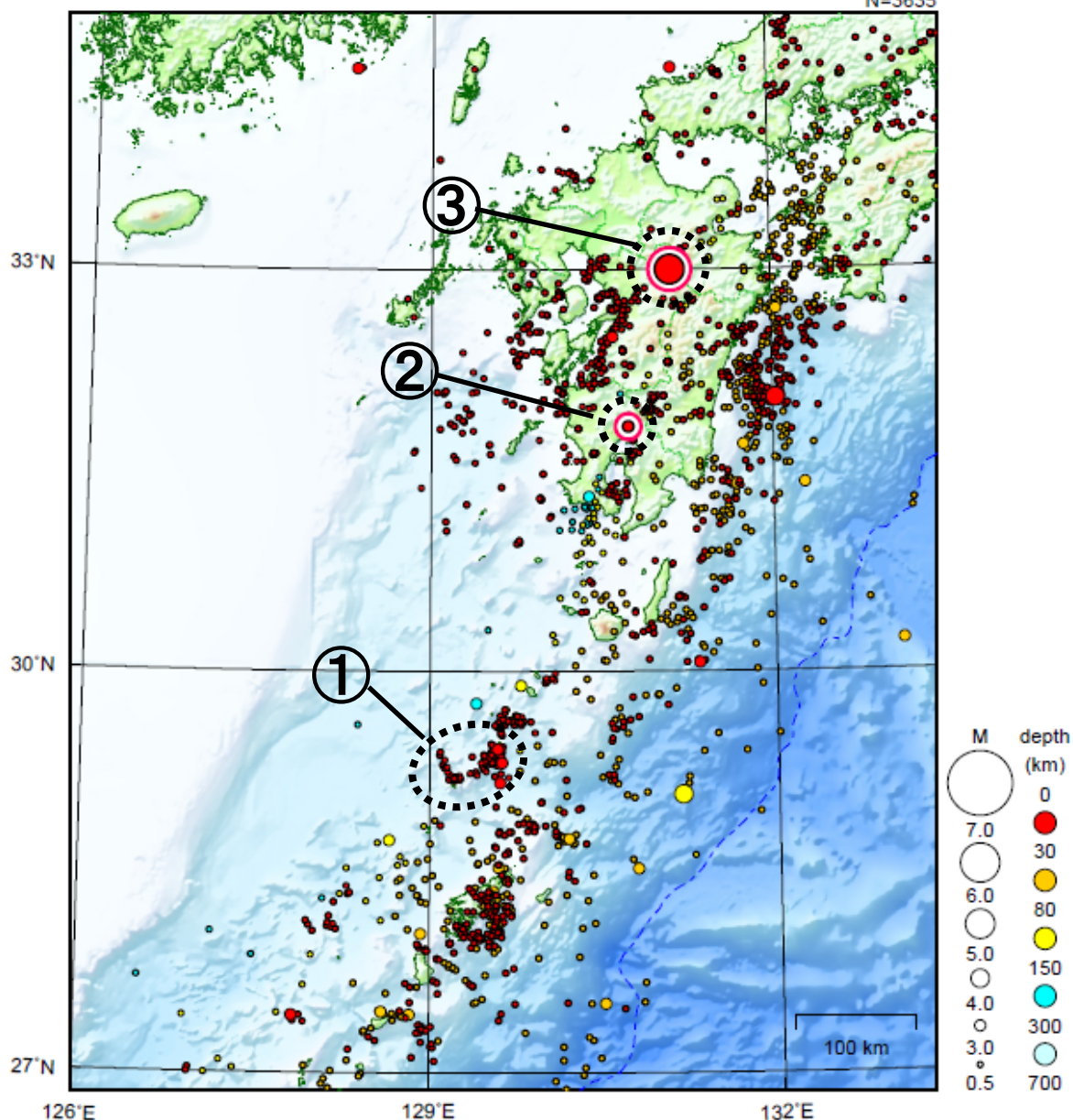


九州地方

2025/11/01 00:00 ~ 2025/11/30 24:00

N=3635



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① トカラ列島近海（小宝島付近）では、11 月中に震度 1 以上を観測した地震が 12 回（震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：8 回）^{（注）} 発生した。このうち最大震度を観測した地震は 6 日に発生した M3.2 の地震（最大震度 3）である。また、最大規模の地震は、7 日に発生した M3.3 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）である。
- ② 11 月 3 日に鹿児島県薩摩地方で M3.3 の地震（最大震度 4）が発生した。鹿児島県薩摩地方では、11 月中に震度 1 以上を観測した地震が 17 回（震度 4：1 回、震度 3：5 回、震度 2：5 回、震度 1：6 回）発生した。
- ③ 11 月 25 日に熊本県阿蘇地方で M5.8 の地震（最大震度 5 強）が発生した。熊本県阿蘇地方では、11 月中に震度 1 以上を観測した地震が 47 回（震度 5 強：1 回、震度 4：1 回、震度 3：2 回、震度 2：14 回、震度 1：29 回）発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

気象庁・文部科学省

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

震央分布図

(1994年10月1日～2025年11月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)

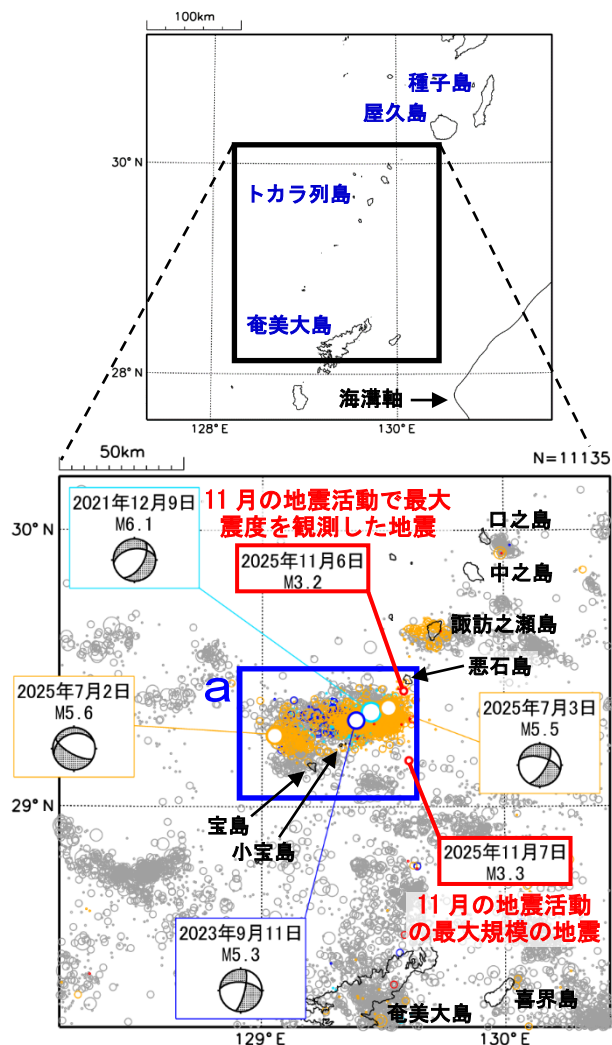
2021 年 12 月の地震を水色○で表示

2023 年 9 月の地震を青色○で表示

2025 年 6 月～10 月の地震を**橙色○**で表示

2025 年 11 月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構は CMT 解



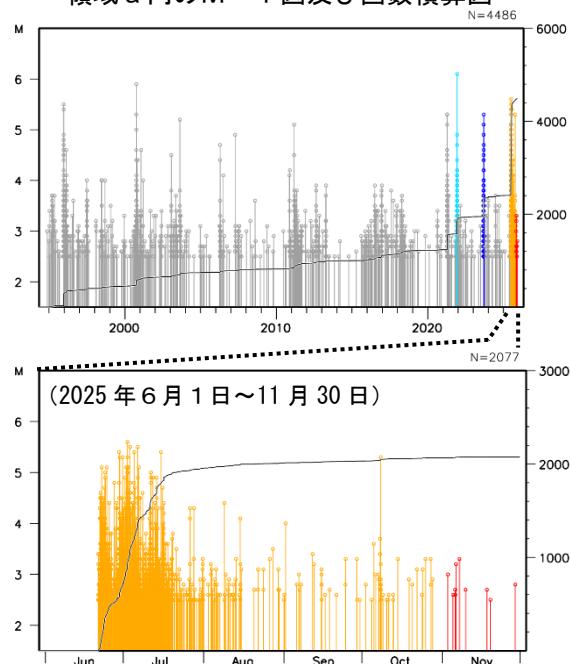
トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025年11月に震度1以上を観測した地震が12回（震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回）^{（注1）}発生した。このうち最大震度を観測した地震は6日07時54分に発生したM3.2の地震（最大震度3）である。また、最大規模の地震は7日16時27分に発生したM3.3の地震（震度1以上を観測した地点はなし）である。今回の地震活動は2025年6月21日から活発になっており、7月3日16時13分にはM5.5の地震（最大震度6弱）が発生した。地震活動は7月20日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少しているが、活動は継続している。6月21日から11月30日までに震度1以上を観測した地震が2395回（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：52回、震度3：164回、震度2：586回、震度1：1585回）^{（注1）}発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。2023年9月8日から活発になった地震活動では、9月30日までに震度1以上を観測した地震が346回発生した（最大震度4の地震2回を含む）。また、2021年12月4日から活発になった地震活動では、12月31日までに震度1以上を観測した地震が308回発生した。このうち、12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）により、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れ等の被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに1年間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる(5ページ後を参照)。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、個々の地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

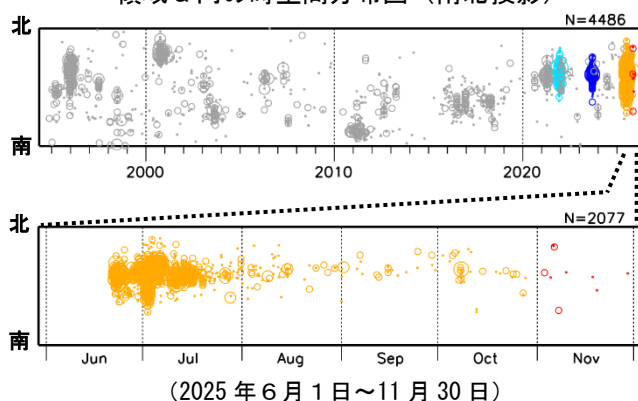
(注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



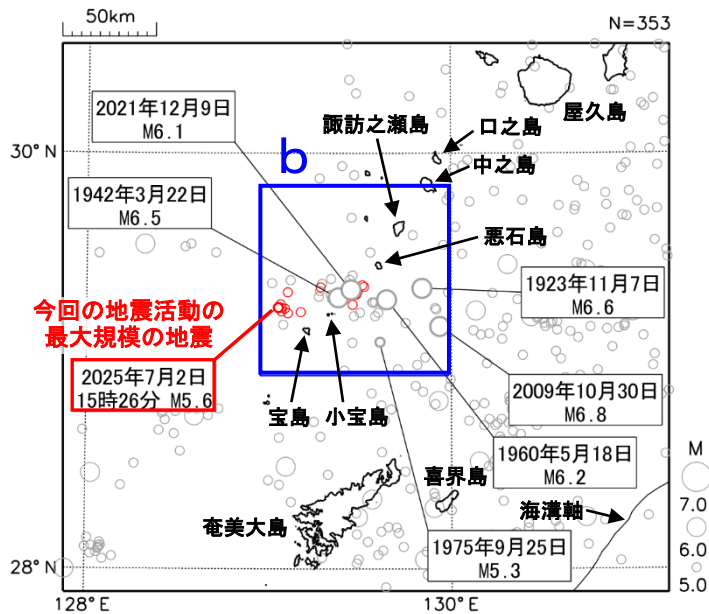
気象庁作成

領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



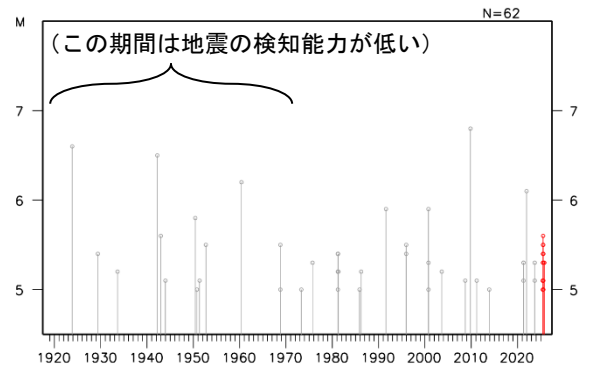
※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

震央分布図
(1919年1月1日～2025年11月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2025年6月以降の地震を赤色○で表示



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺(領域b)では、 $M5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月9日に発生した $M6.1$ の地震(最大震度5強)では、鹿児島県十島村(悪石島)でがけ崩れなどの被害が生じた(被害は鹿児島県による)。また、1975年9月25日に発生した $M5.3$ の地震では、鹿児島県十島村(小宝島)で地割れの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

トカラ列島近海の地震活動(小宝島付近)の最大震度別地震回数表

震度1以上の最大震度別地震回数表(2025年6月21日～11月30日)

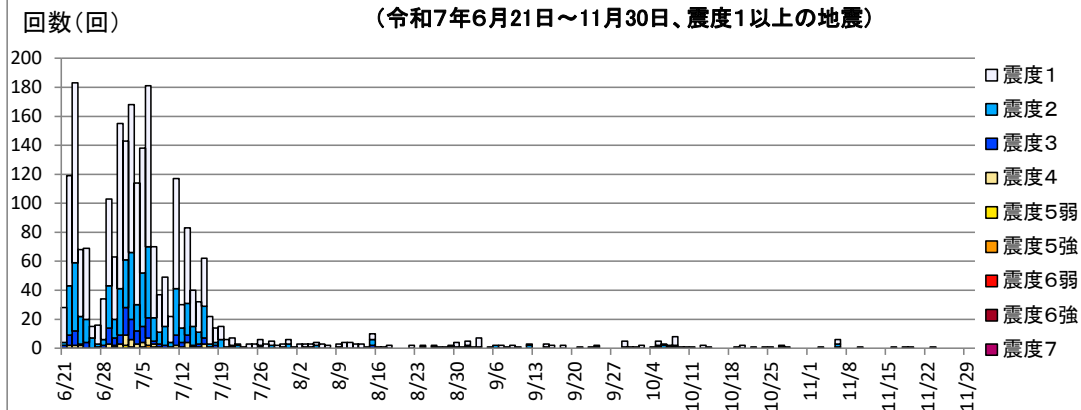
(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

【令和7年6月21日以降の月別発生回数】

月別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
6/21 - 30	471	173	43	10	1	0	0	0	0	698	698		
7/1 - 31	1002	382	108	41	3	3	1	0	0	1540	2238		
8/1 - 31	49	12	5	0	0	0	0	0	0	66	2304		
9/1 - 30	30	8	3	1	0	0	0	0	0	42	2346		
10/1 - 31	25	8	4	0	0	0	0	0	0	37	2383		
11/1 - 30	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12	2395		
総計(6月21日～)	1585	586	164	52	4	3	1	0	0		2395		

【令和7年11月1日以降の日別発生回数】

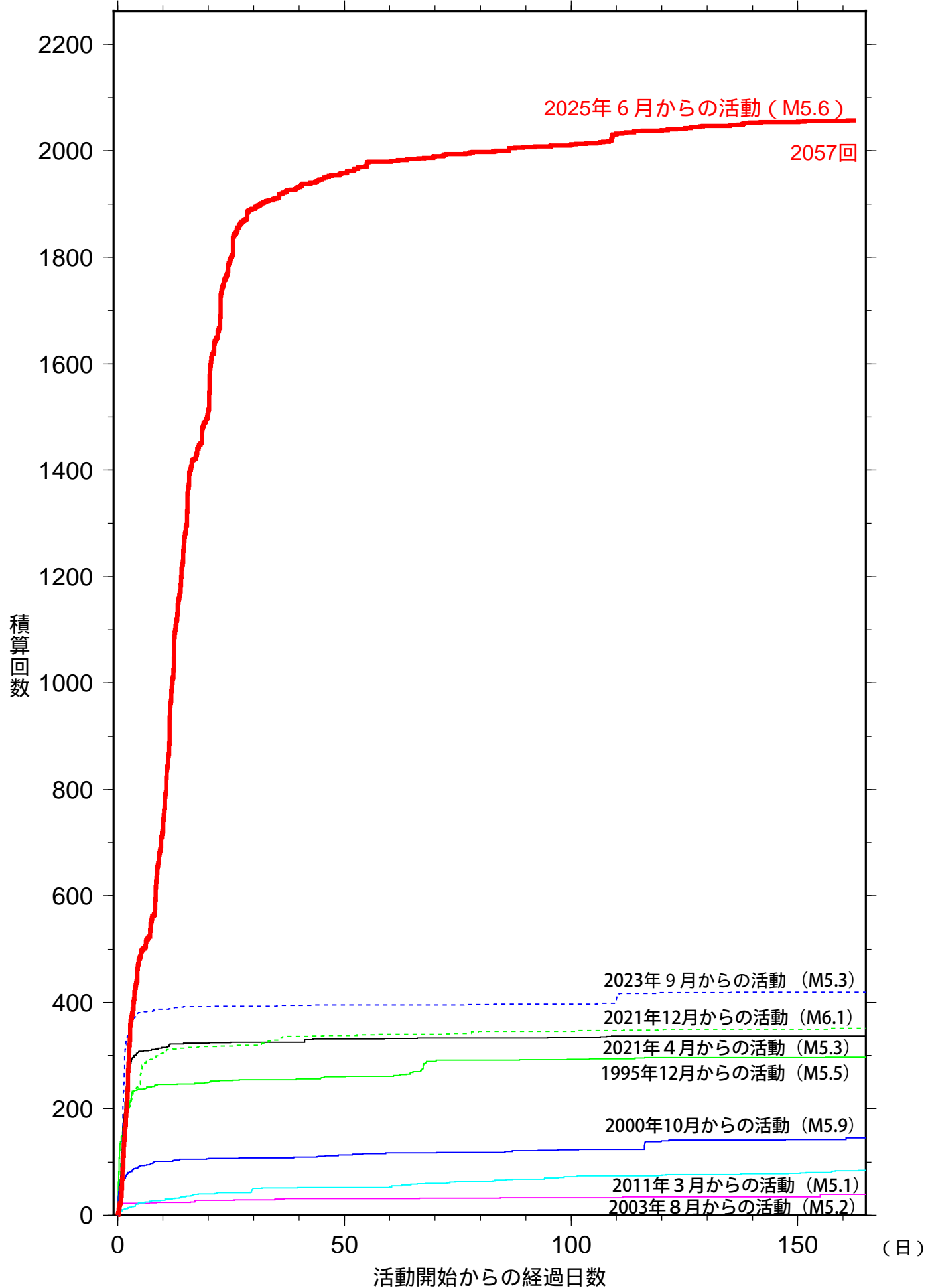
日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
11/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11/3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
11/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
11/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
11/6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	6	7	
11/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
11/10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	
11/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
11/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
11/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
11/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
11/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
11/16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
11/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
11/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	
11/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11	
11/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
11/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
11/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
11/23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	
11/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
11/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
総計(11月1日～)	8	3	1	0	0	0	0	0	0		12		

トカラ列島近海の地震(小宝島付近)の最大震度別地震回数(日別)
(令和7年6月21日～11月30日、震度1以上の地震)

主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード2.5以上）

（回）

2025年12月01日00時00分現在



この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

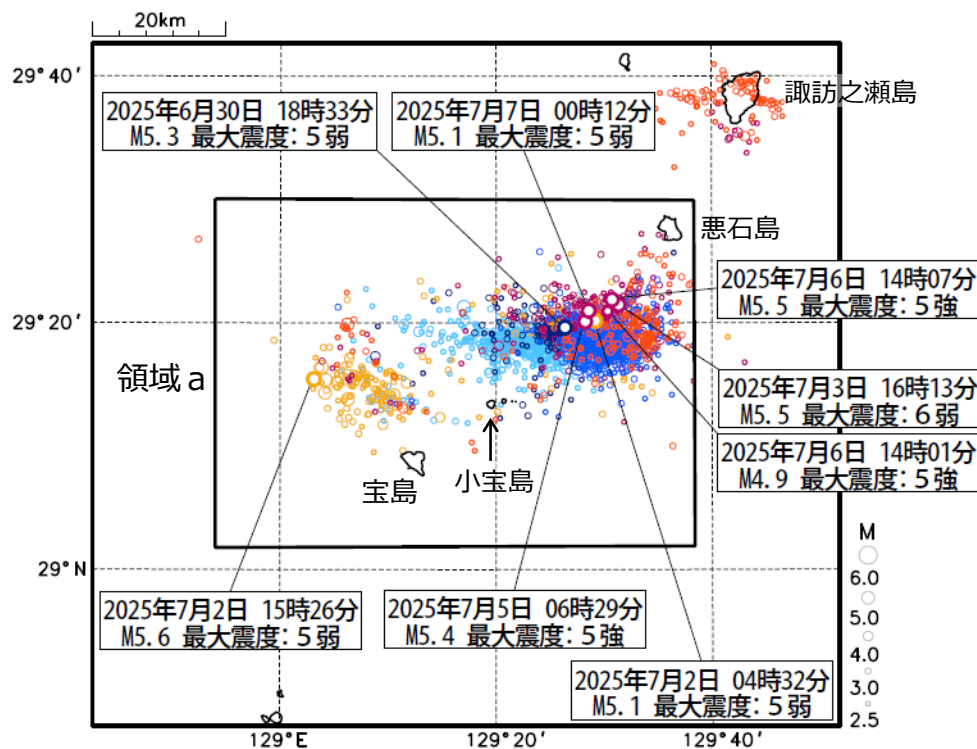
気象庁作成

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） 2025年6月21日以降の地震活動

震央分布図

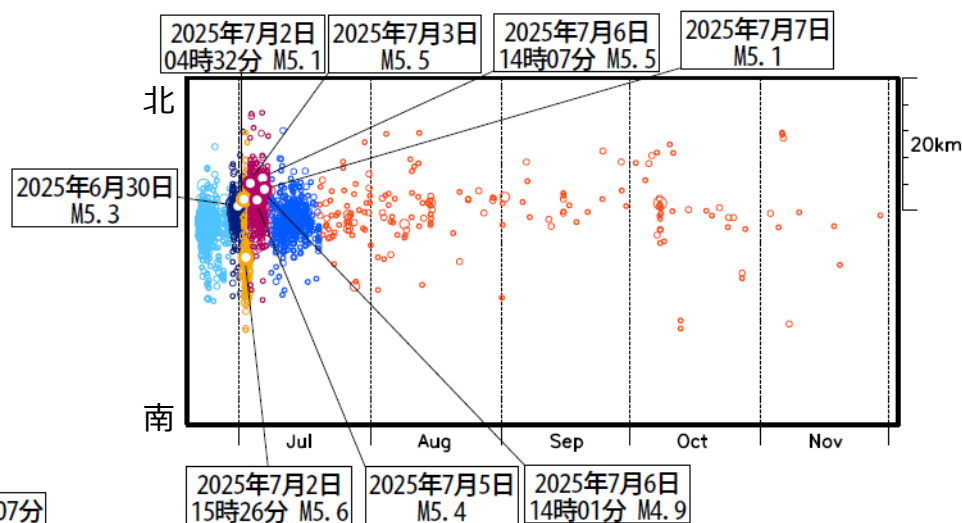
（2025年6月21日～11月30日、深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ ）

- 2025年6月21日～
- 2025年6月29日～
- 2025年7月2日～
- 2025年7月3日 16時13分～
- 2025年7月8日 15時～
- 2025年7月20日～

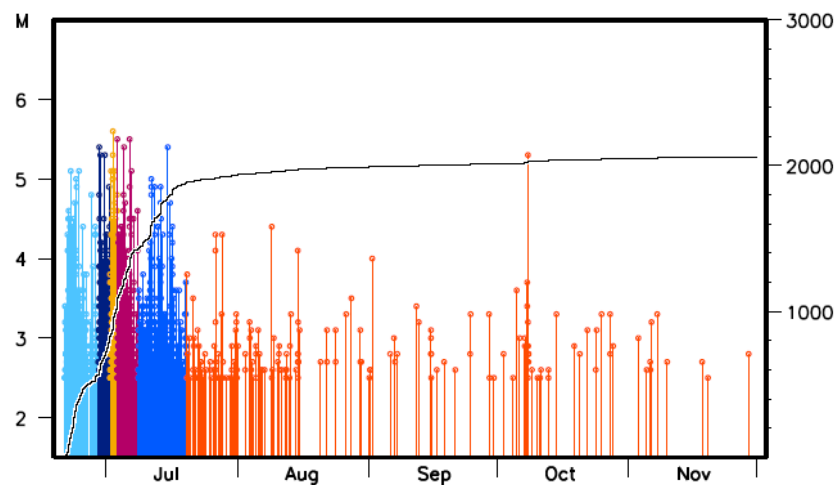


2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

領域a内の時空間分布図（南北投影）



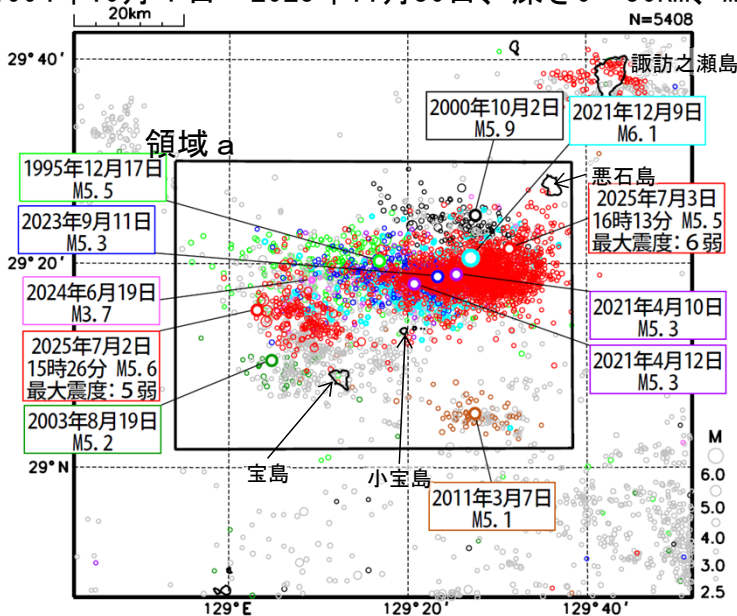
領域a内のM-T図及び回数積算図



トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （過去の活動状況との比較 M2.5以上、1年間）

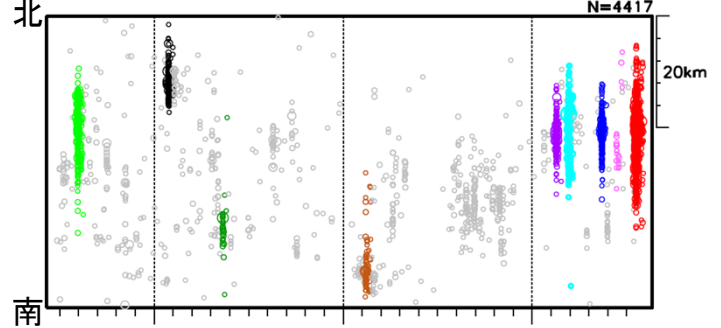
震央分布図

（1994年10月1日～2025年11月30日、深さ0～50km、M \geq 2.5）

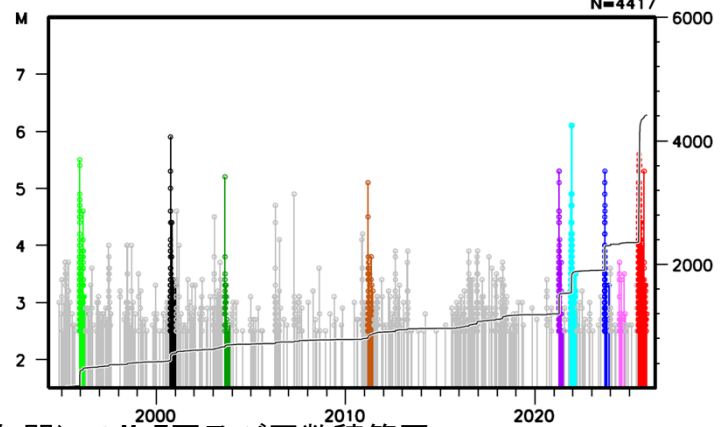


※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

領域 a 内の時空間分布図（南北投影）



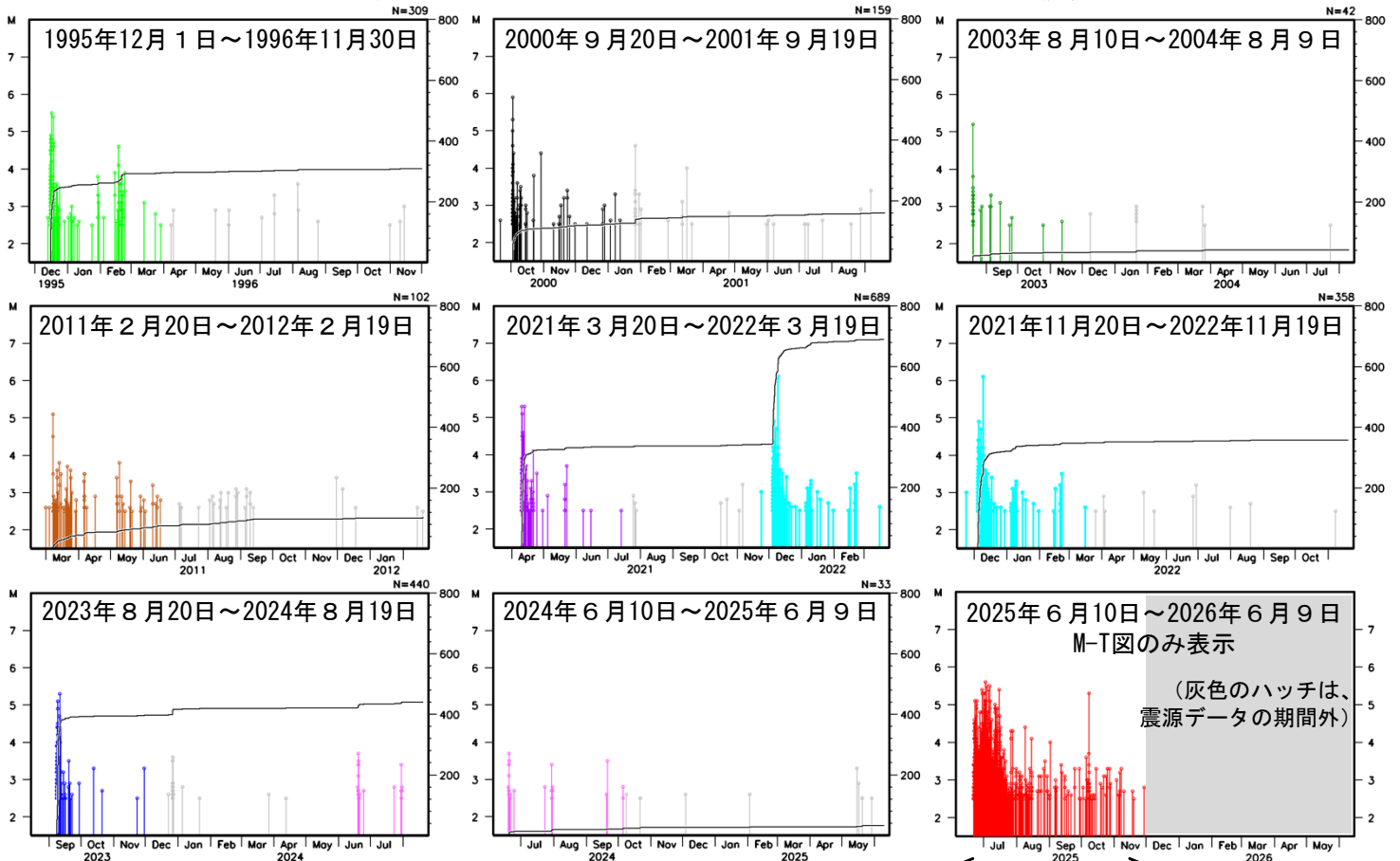
領域 a 内のM-T図及び回数積算図



主な地震活動の期間別（今回の活動以外は各120日間）の色分け

- 1995年12月1日～1996年3月29日：黄緑色
- 2000年9月20日～2001年1月17日：黒色
- 2003年8月10日～12月7日：緑色
- 2011年2月20日～6月19日：茶色
- 2021年3月20日～7月17日：紫色
- 2021年11月20日～2022年3月19日：水色
- 2023年8月20日～12月17日：青色
- 2024年6月10日～10月7日：桃色
- 2025年6月10日～：赤色
- 上記期間以外：灰色

領域 a 内の期間別（各1年間）のM-T図及び回数積算図

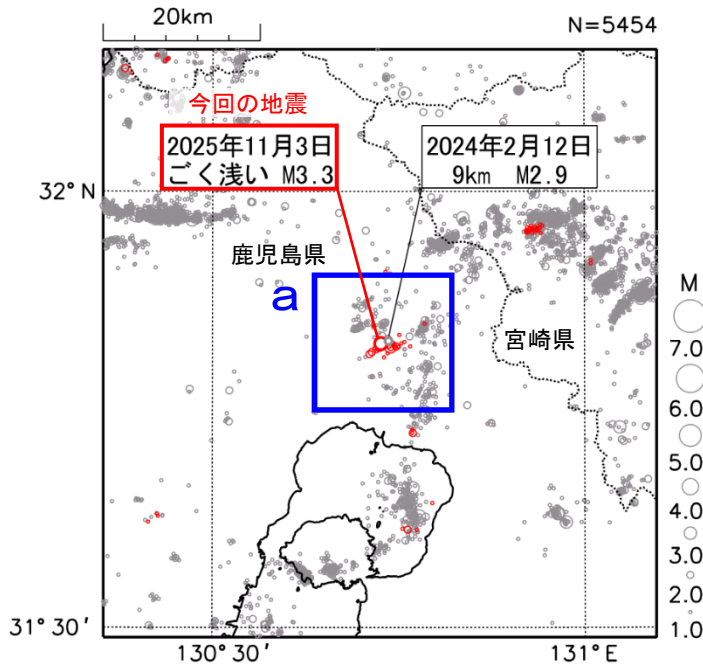


6月10日～11月30日

気象庁作成

11月3日 鹿児島県薩摩地方の地震

震央分布図
(2000年10月1日～2025年11月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
2025年11月の地震を赤色○で表示

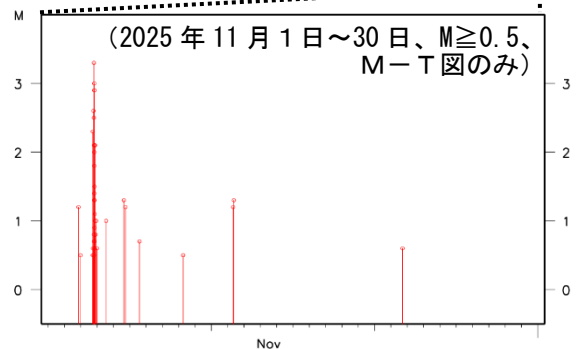
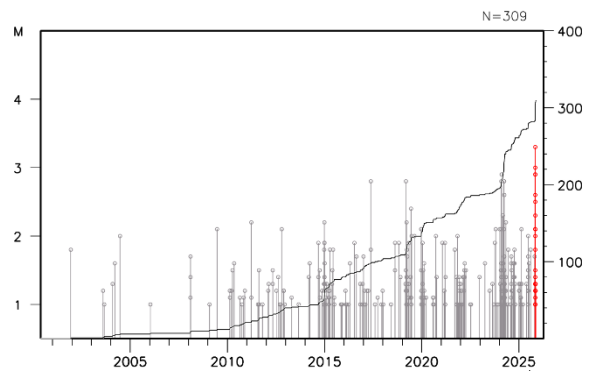


2025年11月3日19時18分に鹿児島県薩摩地方のごく浅い場所でM3.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の震央付近(領域a)では、11月3日17時頃から21時頃にかけて地震活動が一時的に活発となるなど、この地震を含め11月中に震度1以上を観測した地震が17回(震度4:1回、震度3:5回、震度2:5回、震度1:6回)発生した。

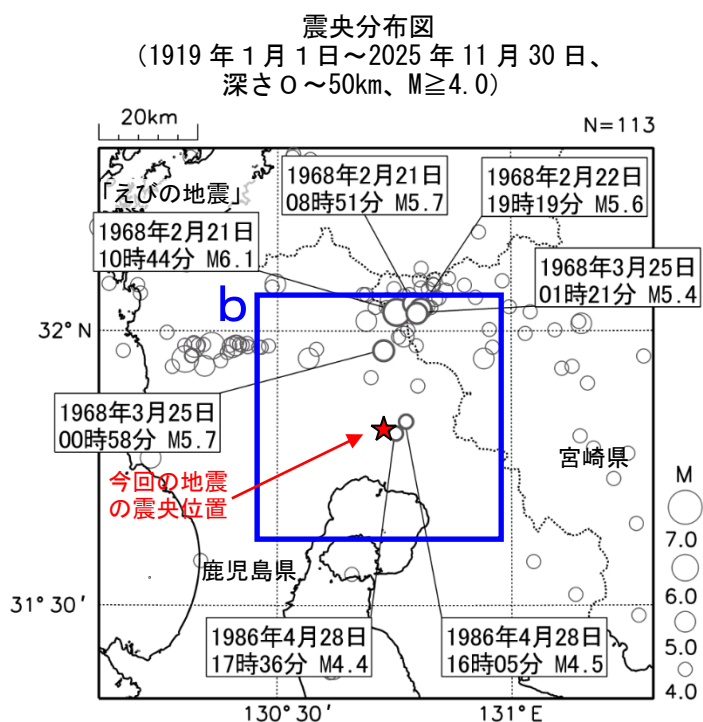
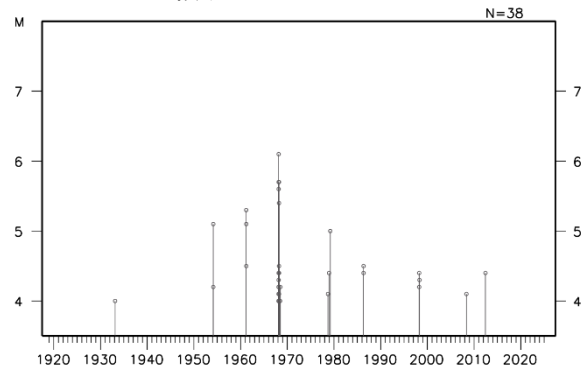
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)は、2024年2月12日にM2.9の地震(深さ9km、最大震度1)が発生するなどM2.0以上の地震はしばしば発生しているが、M3.0以上の地震は発生していなかった。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5.0以上の地震が9回発生している。このうち1968年2月21日の「えびの地震」(M6.1、最大震度5)により、死者3人、負傷者42人、住家全壊368棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

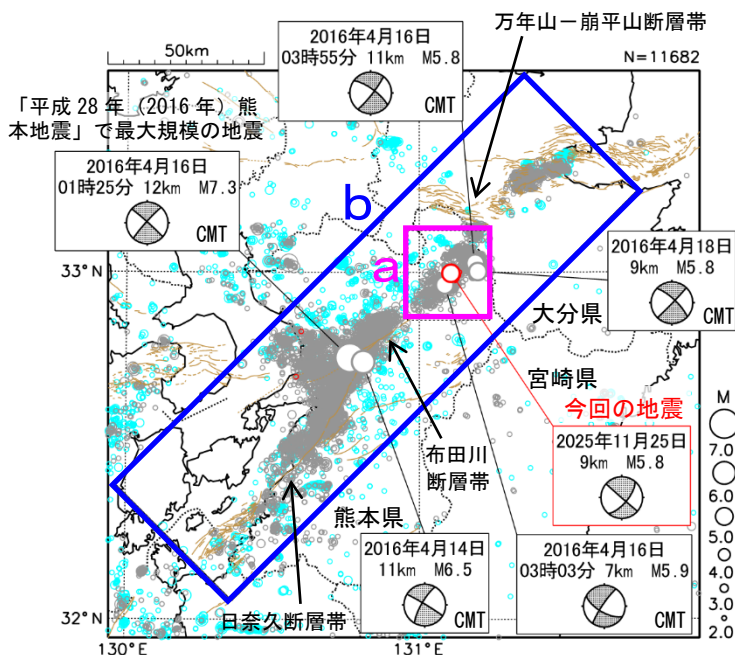


11月25日 熊本県阿蘇地方の地震

震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2025 年 11 月 30 日、
深さ 0 ～ 20km、 $M \geq 2.0$)

2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を薄青色○、
2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を灰色○、
2025 年 11 月 25 日 18 時以降に発生した地震を赤色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

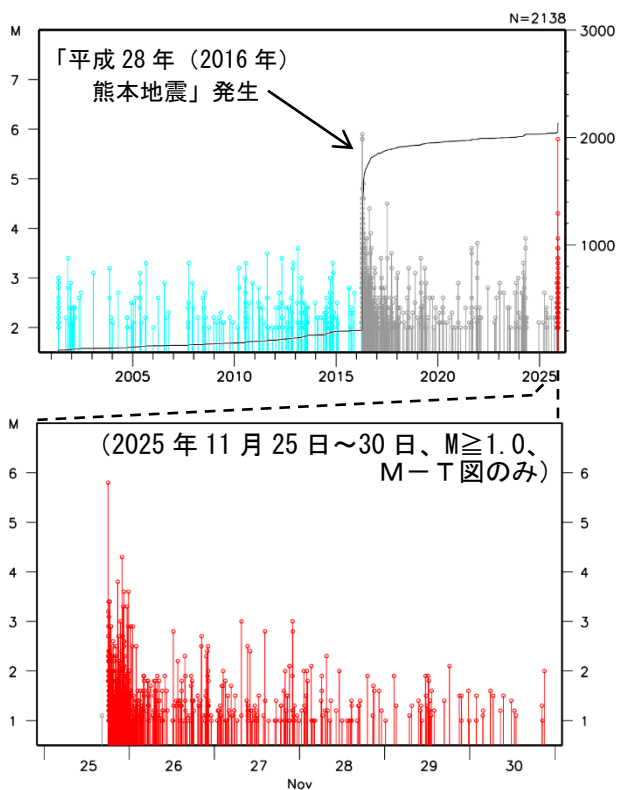
2025年11月25日18時01分に熊本県阿蘇地方の深さ9kmでM5.8の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、11月25日から30日までに震度1以上を観測した地震が47回（震度5強：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：14回、震度1：29回）発生した。この地震により、熊本県で負傷者1人の被害が生じた（被害は2025年12月3日14時00分現在、総務省消防庁による）。

気象庁は11月26日に「気象庁機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度5強を観測した震度観測点（1地点）について点検を実施し、観測環境が地震によって変化していないことを確認するとともに、周辺の被害や揺れの状況について確認した。

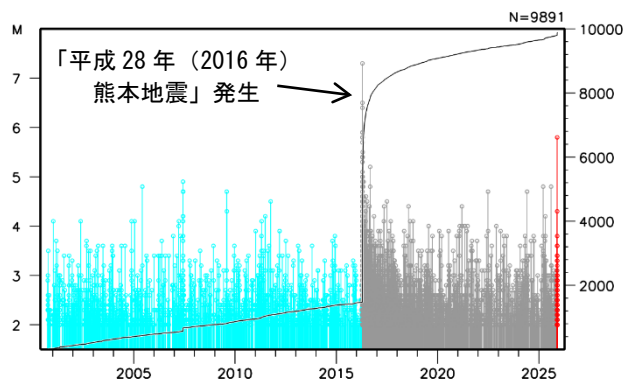
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め4回発生している。2016年4月16日03時03分にM5.9の地震（深さ7km、最大震度5強）が発生している。

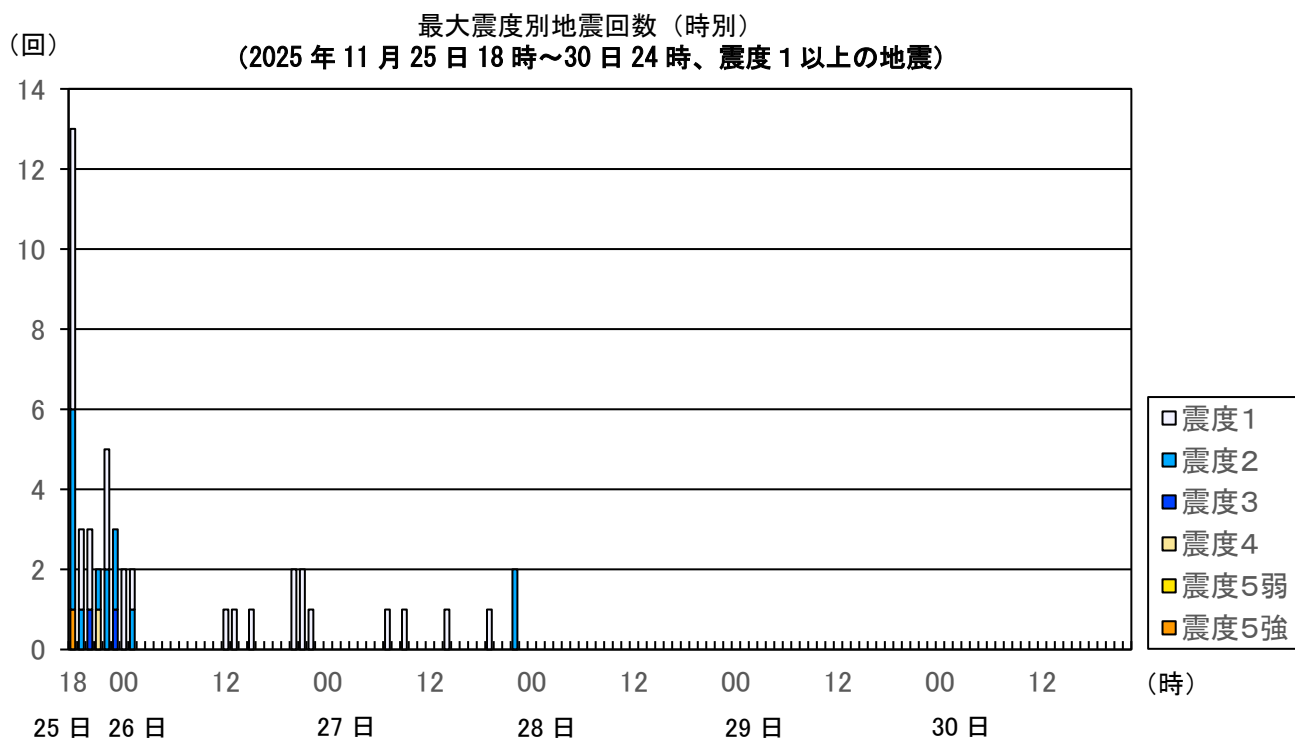
また、領域 b では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生し、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



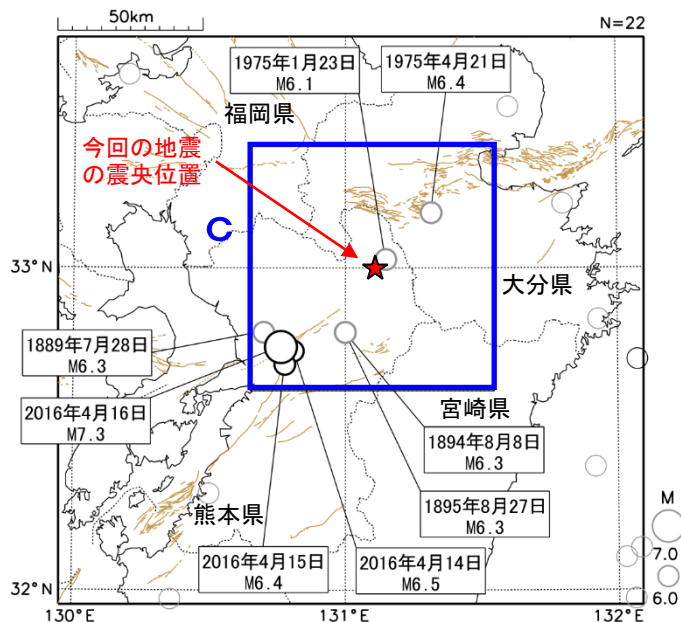
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図





震央分布図
(1885 年 1 月 1 日～2025 年 11 月 30 日、
深さ 0 ～50km、 $M \geq 6.0$)

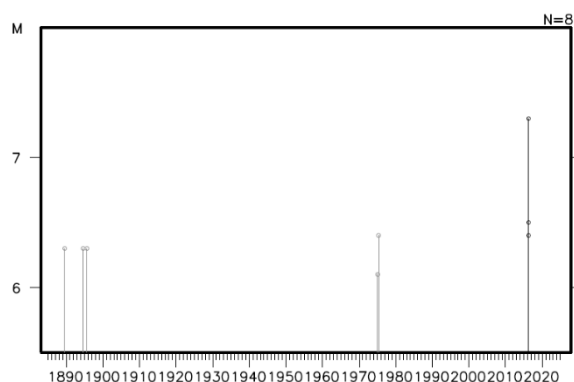
2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○、
2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○、
2025 年 11 月 25 日以降に発生した地震を赤色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
(震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M6.0$ 以上の地震が8回発生している。このうち、1889年7月28日には $M6.3$ の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた。また、1975年4月21日には $M6.4$ の地震が発生し、大分県で負傷者22人、家屋全壊58棟などの被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



※宇津徳治 (1982) : 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885 年～1980 年, 震研彙報, 56, 401-463.
宇津徳治 (1985) : 日本付近の $M6.0$ 以上の地震および被害地震の表 : 1885 年～1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.